

諮問に対する意見

・新型コロナウイルス感染症の影響により、非常時と言っていい状況が続いており、自営業の方など、国保に加入されている方々が苦しい状況にあることを考えれば、保険料の引き上げはすべきでない。

・今の新型コロナウイルス感染症の状況を考えると、来年度の経済状況もどう展開するかわからないため、財政健全化計画の見直しは、来年度以降に改めて行うべき。

・国民健康保険制度には構造上の問題もあり、加入者が負担を強いられている。このコロナ禍で一層大変な状況になっている中で、保険料の引き上げはすべきではない。

・現下の厳しい経済情勢から、このところ連続して保険料を据え置いているのは、やむを得ない部分もあるが、今生きている我々が負担すべきものは、今の時代に負担すべきである。

・新型コロナウイルス感染症の影響により、今、自営業の方は苦しい方が多い。保険料は現行料率のまま、引き上げはなしにすべきである。

・財政健全化はしていかなければならないが、今年に関しては保険料の引き上げはしないで、来年もう一度状況を見て考えたらよいのではないか。

・ずるずると保険料の引き上げを見送るということには反対。財政健全化の目標をしっかりと定めたいうえで、今年度に限っては保険料を据え置くということによりよいと思う。

・一般財源から補填を受けていることは十分認識しているが、今後のコロナの影響が見えていない中では、保険料の引き上げをすることは難しい。

・このコロナ禍の中では、保険料の引き上げは難しいかもしれないが、財政健全化のためには、少しでも引き上げはしておくべきである。

・今は非常事態なので、保険料は現状維持でよい。新型コロナがインフルエンザ並みのランクになった時に、引き上げできる状況になるのではないか。

・薬局としては、安全なジェネリック医薬品を精査して使用を推進することで、医療費抑制につなげていきたい。

・財政健全化は今の計画を維持し、来年度経済状況が悪化した場合は、その時点で見直しを考えればよい。ただ、今後も法定外繰入金が増えていく状況になった場合は、医療費は保険料で賄う必要がある。